

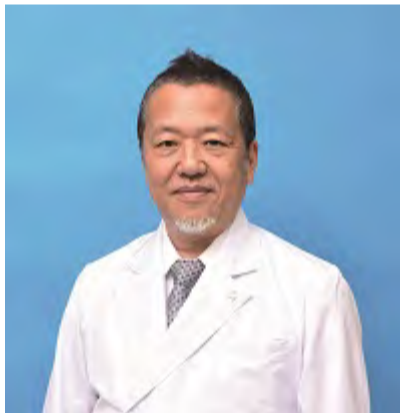


講座のアピールポイント

当リプロダクションセンターは男性不妊患者の診療では大学病院の中で、基礎研究からMD-TESE に代表される男性不妊手術の手術件数まで国内トップクラスの実績を有しております。女性不妊患者の診療もリプロダクションセンター開設以来、増加し続けており、採卵件数及び胚移植件数とも大学病院としてはトップクラスの実績であります。さらに専任の生殖心理カウンセラー、がん・生殖医療専門心理士によるカウンセリングを行うなど充実した心理社会的支援体制を構築しています。無精子症の患者さんに遺伝学的検査を施行する際には院内の遺伝カウンセリングセンターに所属する認定遺伝カウンセラーによる遺伝カウンセリングを受けることができます。このように当センターでは外来診療と外科的治療のみならず、学際的な心理社会的支援体制を施行している生殖医療施設です。

講座研究紹介

男性不妊に関してはがん患者に対する妊孕性温存や、非モザイククラインフェルター症候群(NM-KFS)の患者へのMD-TESEにおける精子回収の予測因子を検討する研究を行っております。また、日本人不妊男性における精子DNA断片化インデックス(DFI)を大規模に解析することによって、男性不妊とDFIの関係を明らかにする研究を行っております。がん・生殖医療に関してはがん・生殖医療患者に対する特別養子縁組・里親制度の情報提供のあり方に関する研究および論文発表を行っております。また、生殖補助医療を受けられている患者カップルへのアンケート調査によるメンタルヘルス研究も行っております。このように、生殖補助医療に関する研究のみならず、ライフコース選択まで含めた心理社会的支援に及ぶ包括的な患者支援に関する研究を行っております。



岡田 弘 名誉教授



小泉 智恵 生殖医療専門心理士



杉本 公平 教授



MD-TESE 手術